

ターペン可溶低汚染1液架橋形アクリルシリコン樹脂塗料

シルビア1液スーパーシリコン

【初版】

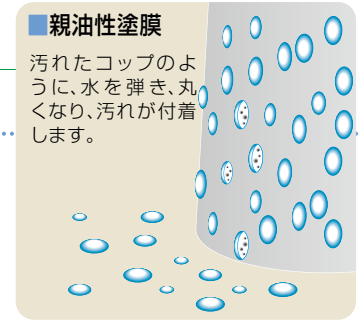
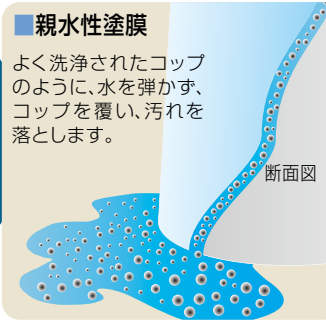
「シルビア1液スーパーシリコン」は、ターペン可溶の1液架橋形アクリルシリコン樹脂塗料で、低汚染性に優れた塗料です。また、架橋により三次元網目構造を形成し、耐候性・耐酸性雨性も発揮します。

特長

1 抜群の低汚染性

特殊セラミックの特性により、塗膜表面を親水化し、付着した汚れを雨で洗い流します。

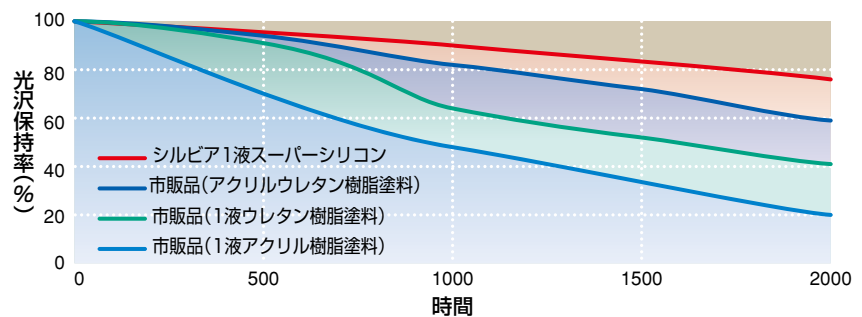
親水性の樹脂が、塗膜表面の汚れを落とします。



2 高い耐候性

特殊アクリルシリコン樹脂が「三次元網目構造」を形成。優れた耐候性・耐酸性雨性を発揮します。

■ 促進耐候性試験(サンシャインウェザーメーター)



3 良好な作業性

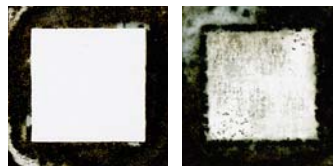
ターペン可溶型塗料のため臭気が少なく、作業性に優れています。また、硬化不良や可使時間の心配もなく、取り扱いも容易です。

4 防かび・防藻性

特殊防かび剤を配合し、優れた防かび・防藻性を発揮します。

■ 防かび性試験結果

MIL変法 試験菌21菌 28日間



▲シルビア1液スーパーシリコン

▲一般塗料

■ 防藻性試験結果

自社試験法 試験藻10菌 28日間



▲シルビア1液スーパーシリコン

▲一般塗料

荷姿

製品名	色	荷姿
シルビア1液スーパーシリコン	各色(艶あり) 艶調整:7部艶あり、5部艶あり、3部艶あり	15kg、4kg
エボラオールプライマー	グレー、赤さび、遮熱ホワイト	16kgセット(A液:14kg B液:2kg) 4kgセット(A液:3.5kg B液:0.5kg)
エボラマイルドプライマーS	クリアー	28kgセット(A液:14kg B液:14kg) 14kgセット(A液:7kg B液:7kg)
エボラ#1プライマーN	グレー、赤さび	16kg
エボラ#3プライマー	白、赤さび ※1.1kgセットは白のみ	16.5kgセット(A液:15kg B液:1.5kg) 1.1kgセット(A液:1kg B液:0.1kg)
シルビアサーフ	白	16kg
シルビアEプライマー	白	16kgセット(A液:14.4kg B液:1.6kg)
塗料用シンナーA	—	16ℓ
エボラ#3シンナー	—	16ℓ、4ℓ
シルビアEシンナー	—	16ℓ、4ℓ

改修標準仕様 [一般壁面、一般鉄部、非鉄金属部]

工程	材料の割合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●粉化物、付着物、エフロレッセンスなどは、ワイヤーブラシなどを使用して除去したのち、高圧水洗機で清掃を行なってください。 ●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜は、ケレン工具を用いて除去してください。 ●サビは、電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。						
下塗り	●エポラオールプライマー A液……………14kg ● // // B液……………2kg ※原液のまま使用してください。	1~2 回※1	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.13~0.16	100~123m ²	3時間以上 72時間以内
上塗り	●シルビア1液スーパーシリコン……………15kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛)……………0~1.5kg ● // (スプレー)……………0~2kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	—	0.12~0.15	100~125m ²	3時間以上

●サビが発生しやすい溶接部、入隅出隅部、または、サビが発生している箇所は、入念なケレン処理後、補修塗りを行なってください。

●適用素地・適用既存塗膜は、エポラオールプライマーカタログをご確認ください。

※1:吸い込みのある下地の場合、2回塗りを行なってください。

シルビアサーフ大波工法改修仕様

工程	材料の割合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●粉化物、付着物、エフロレッセンスなどは、ワイヤーブラシなどを使用して除去したのち、高圧水洗機で清掃を行なってください。 ●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜は、ケレン工具を用いて除去してください。						
下塗り	●シルビアサーフ……………16kg ●清水……………0~0.5kg	1回	●砂骨ローラー	—	0.8~1.5	10~20m ²	12時間以上 72時間以内
上塗り	●シルビア1液スーパーシリコン……………15kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛)……………0~1.5kg ● // (スプレー)……………0~2kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	—	0.12~0.15	100~125m ²	3時間以上

トップコート塗り替え仕様 [吹き付けタイル、サイディングボードなどのトップコート塗り替え仕様]

工程	材料の割合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●粉化物、付着物、エフロレッセンスなどは、ワイヤーブラシなどを使用して除去したのち、高圧水洗機で清掃を行なってください。						
上塗り	●シルビア1液スーパーシリコン……………15kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛)……………0~1.5kg ● // (スプレー)……………0~2kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	—	0.12~0.15	100~125m ²	3時間以上



■一般鉄部改修仕様

工程	材料の割合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●粉化物、付着物などは、ワイヤーブラシなどを使用して除去したのち、高圧水洗機で清掃を行なってください。 ●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜は、ケレン工具を用いて除去してください。 ●サビは、電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。 						
下塗り	●エポラ#1プライマーN16kg ※原液のまま使用してください。	1回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	—	0.13~0.16	100~123m ²	3時間以上 72時間以内
上塗り	●シルビア1液スーパーシリコン15kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) 0~1.5kg ● // (スプレー)0~2kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	—	0.12~0.15	100~125m ²	3時間以上

●サビが発生しやすい溶接部、入隅出隅部、または、サビが発生している箇所は、入念なケレン処理後、補修塗りを行なってください。

■FRP製貯水槽防藻塗り替え仕様

工程	材料の割合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●粉化物、付着物などは、ワイヤーブラシなどを使用して除去したのち、高圧水洗機で清掃を行なってください。 ●被塗面の目粗しは、研磨紙P220~320を用い均一に行なってください。 ●被塗面は、下塗の塗布前に、アセトンで十分にふき取りを行なってください。 						
下塗り	●エポラオールプライマー A液.....14kg ● // // B液2kg ※原液のまま使用してください。	1回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.13~0.16	100~123m ²	3時間以上 72時間以内
中塗り	●シルビア1液スーパーシリコン ブラック.....15kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) 0~1.5kg ● // (スプレー)0~2kg	1回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	—	0.12~0.15	100~125m ²	3時間以上
上塗り	●シルビア1液スーパーシリコン15kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) 0~1.5kg ● // (スプレー)0~2kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	—	0.12~0.15	100~125m ²	3時間以上

※2: 素地に離型剤が残っている場合は、適切な処理を行ない除去してください。



●適用素地について

●アクリルリシン、吹付タイル、弾性タイル(弾性タイプ)、単層弾性、アクリルスタッコ、一般鉄部、塩ビパイプなど。

【施工上の注意事項】

■素地調整について

- ①粗面やALC面、多孔質下地など、素地に問題がある場合は「NTカチオンシリウス」などを使用して、素地調整を行ってください。
- ②表面のチョーキング、ゴミ、かび類、藻類、レタタンスなどは除去し、目隠し、ジャンカ、コールドジョイントなどは適切な下地処理を行ってください。
- ③高圧水洗機が使用できない場合はホースで水を流しながらブラシなどを使用し、ホコリ、かび類、藻類を完全に除去してください。
- ④油分が付着している場合は中性洗剤などを使用し、除去してください。
- ⑤サビが発生している場合はワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去して、金属用のプライマーを施工してください。
- ⑥高圧水洗機やエアレスブロー塗装では、施工中のミスト飛散防止の養生を行ってください。

■塗料と塗装について

- ①仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、素地の状態や形状、施工条件、気象条件などにより、多少の幅が生じることがあります。
- ②外壁表面を水洗いした後や雨、露、霜で濡れている場合は十分に乾燥させてから塗装してください。
- ③降雨、降雪が予測される場合や気温が5℃以下、湿度80%以上の塗装は避けてください。
- ④塗膜が十分に乾燥しないときに降雨や結露などによる水分の影響を受けた場合、塗膜表面が白化や割れ、シミなどが発生する可能性がありますので水分の影響を受ける場合は施工しないでください。また、乾燥までの時間を考慮して作業を終了してください。
- ⑤結露が発生する恐れのある場所や換気が不十分な場所での施工は避けてください。仕上り不良、硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ⑥塗料は必ず規定の配合比で混合し、十分に攪拌してから施工してください。また、他の塗料との混合は絶対に行わないでください。
- ⑦塗料を小分けして使用する場合はA液を十分に攪拌し、均一な状態にしてから計量してください。色ムラなどの要因となります。
- ⑧塗料の希釈は「塗料用シンナー A」をご使用ください。シンナーの種類によっては粘度低下が激しくなったり、本来の色や艶がでない場合があります。また、過剰希釈しますと隠れ不足や色艶の低下、外観不良などの要因となります。
- ⑨一度混合した塗料は必ず可使時間内に使い切るようにしてください。
- ⑩硬化が不十分で塗装しますと再溶解やリフティング(塗膜のチヂリ)が発生する場合があります。

- ⑪改修工事の場合、既存塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、既存塗膜を剥離リフティング(塗膜のチヂリ)やフクレが発生する場合がありますので、既存塗膜を必ず確認の上で塗装仕様を決定してください。
- ⑫夏季、炎天下でエアレスホース内に塗料をいれたまま放置しますと、つまりの原因となります。
- ⑬風化面、吸い込みの多い下地の場合は再度、専用のプライマーなどを増し塗りしてください。
- ⑭素地の種類によっては下塗り塗料の選定および試験施工が必要になります。
- ⑮既存塗膜の劣化状況によってはプライマーや目粗しが必要になります。
- ⑯塗料の使用量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- ⑰シーリング面への塗装は塗膜の汚染や剥離、収縮割れが発生する場合がありますので極力行わないでください。やむを得ず使用する場合はシーリング材が完全硬化した後に、硬化剤は弾性B液を使用してください。
- ⑱シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類などにより、塗膜が付着しない場合や汚染することがありますのでご注意ください。詳細は最寄りの営業所までお問い合わせください。
- ⑲目地幅や隙間幅が大きい場合や建物やボードの動きの激しい部位のシーリング部への塗装は塗膜が割れる場合がありますので避けてください。
- ⑳塗装方法が混在する場合、塗布量、表面肌が異なることで若干の色相差や光沢差がでることがあります。とくに補修塗りを行なう際、ローラー塗り、刷毛塗りが混在しますので、その場合は同一希釈量で行ない、補修塗りは最小範囲で行ってください(目立ちにくくなるように塗装してください)。
- ㉑ローラーや刷毛など同一面で塗装方法が異なる場合、使用量や塗装表面状態が異なるため若干色が変わって見えますのでご注意ください。また、ローラー塗りの場合はローラーの目により、仕上り色相が異なって見えることがありますので、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。
- ㉒気温が5℃以上で塗装は可能とありますが、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。
- ㉓規定の塗布量が塗られていない場合、本来の塗膜性能が発揮されない場合がありますので標準塗布量を守って塗装してください。
- ㉔コンクリートの表面は十分に乾燥させてください(表面含水率10%以下(ケツ科学社製CH-2型)または5%以下(ケツ科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジ))。

- ㉕シーリング材の劣化などがある場合には打ち替えを行なってください。
- ㉖塗り替え塗装で既存塗膜が弾性スタッコ、弾性リシン、アクリルトップの場合、既存塗膜がすでに膨れている、また既存塗膜の表面にピンホール(細かな気泡)が生じている場合があります。その上に塗装しますと膨れがさらに大きくなる可能性がありますので、上記の場合は既存塗膜を完全に除去してください(とくに部材が軽量モルタル、ALCパネル、窯業系サイディング、発砲ウレタンなどを使用した断熱工法の外壁の場合は注意が必要です)。
- ㉗艶調整品は塗り継ぎや補修などでムラが出やすくなりますので、面を区切って施工してください。
- ㉘艶調整品は艶消し剤が沈降している場合や塗料が分離している場合、攪拌機を用い十分に攪拌し、均一な状態にして塗装してください。
- ㉙艶調整品は下地の状態や膜厚、希釈量、塗装間隔により、ムラが生じたり、実際に希望している艶と異なる場合があります。必ず艶を確認し、塗装条件はなるべく同一条件で塗装してください。
- ㉚使用後は塗装器具メーカーの指示に従い、適切な洗浄および保管をしてください。
- ㉛希釈率は試験施工などにより決定し、同一条件で施工してください。ただし、希釈率は色や施工条件により、変化しますのでご了承ください。
- ㉜建物の構造や部位、仕上げ、環境条件などによっては本来の低汚染が発揮されない場合があります。
- ㉝著しくかびや藻の発生しやすい環境下では防かび、防藻効果が十分に発揮されない場合があります。
- ㉞塗料の過剰希釈は仕上り不良になることがあります。規定内の希釈量で塗装してください。また、塗料が濃色の場合、色相によっては2回塗りでは隠れにくい場合があります。その場合は塗り回数を増やしてください。
- ㉟材料の保管は直射日光を避け、雨露のあたらない冷暗所に保管してください。
- ㊱本塗料およびシンナーはすべて引火性がありますので、冷暗所に保存し、取り扱いの際は火気に充分ご注意ください。また、衛生上、塗装の際に有機溶剤の蒸気を吸わないように注意してください。
- ㊲③～7部艶あり仕上げを行なう場合、上塗り1回目に「艶あり」上塗り2回目に「3～7部艶あり」を使用してください。
- ㊳既存塗膜がOP、FEなど油性系の場合、十分に目粗しを行なってください。目粗しが不十分な場合は、剥離の原因となります。

「シルヒア[®]液スーパーシリコン」の安全衛生上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は、ABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください(水系塗料は凍結を避けてください)。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は環境に配慮した材料を用いていますが、ご使用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 詳細は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

- 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323
- 平塚営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739
- 名古屋営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124
- 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560
- 広島営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256
- 福岡営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <http://www.nttoryo.co.jp/>

■代理店